

関係各位

2023年7月31日

株式会社パテント・リザルト

## 【精密機器】他社牽制力ランキング 2022

### トップ3はキヤノン、セイコーエプソン、リコー

弊社はこのほど「精密機器業界」の特許を対象に、2022年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「精密機器業界他社牽制力ランキング 2022」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2022年に最も引用された企業は、1位 **キヤノン**、2位 **セイコーエプソン**、3位 **リコー**となりました。

#### 【精密機器業界 他社牽制力ランキング 2022 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	キヤノン	6,954
2位	セイコーエプソン	4,190
3位	リコー	3,877
4位	コニカミノルタ	3,046
5位	大日本印刷	2,536
6位	オリンパス	2,337
7位	富士フィルムビジネスイノベーション	2,023
8位	凸版印刷	1,467
9位	ニコン	1,432
10位	京セラドキュメントソリューションズ	855

#### 【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2022年12月までに公開された全特許のうち、2022年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計を行っています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2023年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **キヤノン**の最も引用された特許は「高い光学性能が得られる広画角の光学系及びそれを有する光学機器」に関する技術で、タムロンやセイコーエプソンなどの計10件の審査過程で引用されています。このほかには「光線追跡法に従って仮想空間の画像を生成するための画像処理装置」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、ティージー情報ネットワークの計7件の拒絶理由として引用されています。

2022年に、キヤノンの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はコニカミノルタ（502件）、次いでリコー（442件）となっています。

2位 **セイコーエプソン**の最も引用された特許は「有機EL素子の発光輝度の減衰を抑制することができる発光材料」に関する技術で、住友化学の計14件の審査過程で引用されています。このほか「熱可塑性樹脂粒子を含むインクをノズルから噴射する液体噴射ヘッドを備えた液体噴射装置」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、リコーなどの計6件の拒絶理由として引用されています。

2022年に、セイコーエプソンの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はリコー（238件）、次いでキヤノン（227件）です。

3位 **リコー**の最も引用された特許は「入力される判定対象画像データの異常判定装置」に関する技術で、富士フイルムやセイコーエプソンなど計12件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2022年に、リコーの特許により影響を受けた件数が最も多い企業はコニカミノルタ（424件）、次いでキヤノン（409件）となっています。

4位 **コニカミノルタ**は「光学系及びそれを備えた画像投影装置及び撮像装置」、5位 **大日本印刷**は「樹脂積層板及びタッチパネル」が、最も引用された特許として挙げられます。

\* \* \*

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

#### 【精密機器業界 他社牽制カランキング 2022 データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

（※データー式を収録したCD-Rでの御納品をご希望の場合はご相談ください）

・ランキング トップ50社：本業界の被引用件数上位50社のランキング

・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000円（税抜）

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL : <https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail : [info@patentresult.co.jp](mailto:info@patentresult.co.jp)